



保護犬・猫を家族の一員として 迎え入れてくれる人を募集しています



譲渡の流れ

1 譲渡対象の犬・猫を確認

動物ふれあいセンターや動物愛護センターのホームページで、対象の犬・猫を確認する。 ※対象の犬・猫は、両センターで実際に会うことが可能



動物ふれあい
センター
ホームページ



動物愛護
センター
ホームページ

2 譲渡資格調査票などを提出

迎え入れたい犬・猫がいたら、調査票などを動物愛護センターへ提出する。 ※調査票などは新潟市ホームページに掲載。動物ふれあいセンターや動物愛護センターでも配布。書類審査が終わり次第、譲渡前講習の日程などをお知らせ



調査票
などは
こちら

3 譲渡前講習・面談・お見合い

正しい飼い方やマナーなどについての講習を受ける。また、譲渡を希望する犬・猫とお見合いをして、実際に飼うときの注意点などを確認する。

トライアル飼育ができます

犬や1歳以上の猫の場合、希望する人は講習後に最長2週間、お試しで飼育できます。譲渡後の生活を想像したり、先住ペットとの相性を確認したりすることができます。



4 譲渡

譲渡が決定したら、脱走しないようにケージやキャリーバッグなど適切な方法で、自宅へ迎え入れる。 ※譲渡後は動物病院で健康診断を受けてください

保護猫などの情報は
こちらでもチェック!

Instagram
をチェック!

新潟動物ネットワーク

新潟動物ネットワーク(NDN)は、主に猫の保護・譲渡に取り組むボランティア団体です。NDNにも飼い主を募集している猫などが登録されています。ぜひ確認してください。



新潟動物
ネットワー
ク
ホームペー
ジ

動物愛護センター 公式アカウントで 情報を発信中

保護犬・猫の写真や動画、イベント情報などを発信しています。ぜひフォローしてください。



フォローは
こちら

＼すてきな出会いを見つけに来ませんか／

猫の譲渡会を開催

予約不要で参加できます。

日 3月9日(日)13時～15時

場 動物愛護センター ￥ 無料

※混雑状況により、入場を制限する場合あり。譲渡条件など詳しくは新潟市ホームページに掲載



詳しくは
こちら



＼保護猫を迎え入れた人に聞きました／

こどものように大切な存在

猫が大好きで、こどもの頃からずっと猫を飼っていたと思っていました。

昨年7月、妻の知人のミルクボランティアさん＝下田み＝から「生まれたばかりの子猫を保護した」と教えてもらって会いに行ったのが、「うに」との出会いでした。娘と息子が動物の世話をできる年齢になっていたことや、家族みんなが賛成してくれたことで、うにを飼うことに決めました。うには生まれてすぐに親猫が逃げてしまったため、周囲と関わるのが苦手な猫でした。「周りとの関わり方を知ってほしい」「寂しい思いをしてほしくない」という気持ちもあり、2カ



島倉 司さん
うにちゃん(左)・ほたてちゃん(右)
(中央区在住)



▲きょうだいのように仲の良い「うにちゃん」と「ほたてちゃん」

月違いで家に迎え入れたのが「ほたて」です。ほたてもミルクボランティアさんからの紹介で譲り受けた保護猫でした。うにとほたては、けんかもしながら、きょうだいのように仲良く暮らしています。

うにとほたてを迎え入れてからは、こどもたちが二匹の世話はもちろん、世話以外の家事も率先して手伝ってくれるようになり驚きました。

猫がいる幸せな生活をこれからも続けられるように、責任を持って一緒に暮らしていきたいです。

子猫の世話をする ミルクボランティアを募集

保護されている子猫を、生後2カ月になるまで自宅で世話するボランティアを募集しています。世話の内容は、ミルクや餌やりのほか、トイレ・ケージの清掃、健康観察、ふれあい遊びなどです。 ※応募条件・方法など詳しくは新潟市ホームページに掲載

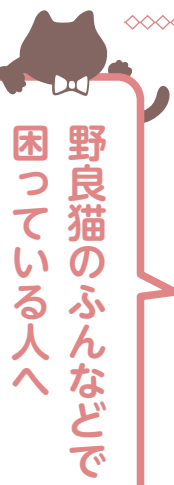


詳しくは
こちら



ボランティアの主な条件

- 市内在住で、子猫の飼育が可能な住居に住んでいる
- 自家用車で子猫の送迎ができる
- 子猫を適正に飼育できる環境があり、家族全員が飼うことに同意している
- 事前に行う説明会や個人面談に参加し、家庭訪問を承諾できる



野良猫が住み着く原因

誰かが餌をあげているなど、猫にとって住みやすい環境になっている可能性が高いです。

野良猫が寄ってこないようにするには

猫の侵入経路や、排せつ場所などを調べてから対策すると効果的です。

対策例① 園芸用木酢液を家の敷地(猫の出入口など)にまく

木酢液は、猫が苦手な木が焼けた酸臭を放ちます。 ※使用する場合は、ふんなどの臭いを取り除いてから、繰り返し散布すると効果的

対策例② 超音波発生装置を設置する

動物愛護センターや区役所区民生活課で、超音波発生装置(ガーデンバリア)を2週間、無料で貸し出しています。

駆除目的の捕獲・引き取りはできない

動物愛護センターや区役所では、駆除目的での野良猫の捕獲・引き取りをしていません。ふんなどの被害を受けている場合は、自らで対策するしか方法がありません。

野良猫の寿命は3～5年ほど

野良猫を迷惑に思っている人もいると思いますが、野良猫もまた被害者です。元飼い猫が、心無い飼い主に捨てられ、つらく厳しい野良生活を送っているのです。

野良猫は寒さや病気、交通事故のため、寿命が3～5年程度とされています。繁殖さえしなければ、長い間迷惑をかけるものではありません。不妊去勢手術された野良猫は、当代限りの命として、できるだけ見守ってあげてください。 ※野良猫の不妊去勢手術について、詳しくは動物愛護センターへ問い合わせ

不妊去勢手術された野良猫は、耳先がカットされています

